

欲しいことに豫て思つて居たのであるが、丁度同じように兒童の健康問題を顧慮せらるゝ同志諸君の此の舉を見るにつけて、是非共お願ひし度いものと思ふのである。

以上縷々。若し夫れ單に子供すき連の趣味の會といふだけのことならば、こんなに眞面目に彼之と考へる方が野暮の至りと笑はるゝであらう。しかし、此の種の會の關係者諸君の中には、我國の兒童のために、常に尊敬すべき權威者の位置に立たるゝ人々が多い。私は世間の子供道樂者が、面白半分寄り集つて打ち興じて居るようなことと同視することは出来ないのである。殊に私の知れる若き愛兒家達の中に、此の種の會に就て、一通り贊成のような、しかも心の何處かに惑ふような感じを有して居る人が少くない。一方には其の人々に私の考へを參考に供すると共に、我國の兒童及び家庭の尊嚴のために、思ふ所を一言公にして置くことを禁じ得ないのである。

大道玩具の研究

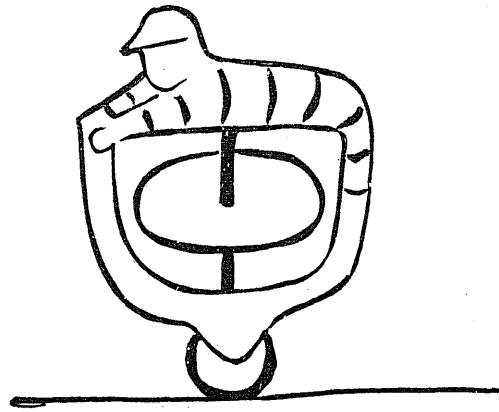
淺草公園にて

K T 生

淺草公園は私の家から程遠くないので閑暇な時にはよく遊びに行つて見る。淺草公園は理窟抜きにして面白い所であると同時に社會觀察の好資料を我々に惜氣も無く提供して呉れる寶庫である。

倉橋先生にヒントを與へられて大道玩具研究と出掛けると平常は餘り氣が附かなかつた玩具屋が多いこと多いこと。兎ても一度や二度の觀察では要領を得さうにもない。そこで先づ第一着手として觀音堂の階段下から仁王門に至る三十間許の石磴の兩側に軒を並べた露肆の玩具を見て歩かう、
▼單線自働獨樂 一寸許の鉛製の獨樂であるが今までの獨樂とは少し毛色の違つた複雑なもの、烏打帽を被つた人が俯向いて水平に廻轉する車を抱いてゐる、そして足の先には垂直に廻轉する車が

附いてゐる、是等の人や車は皆固定されて一個の玩具をなしてゐるのである(挿圖参照)、遊び方法はといふと先づ水平に廻轉する車の心棒にある小



孔に糸を差込んで車を廻轉させると糸が心棒へ巻かつて了ふ、そこで人の頭のあたりを持ち乍ら糸を引張ると水平の車は陰りを生じて盛んに廻轉する。垂直の車の方を鋼の箍の上へ載せるとクルクルと箍の上を走り廻る、茶碗の縁へ載せても同じこと、糸を張つてその上を走らしてもいい。遊び榮えのある面白い玩具であ

る、物理學の力學の參考標本として立派に「教育玩具」の名稱が冠せられるものと思ふ。徑一尺許の鋼の箍と獨樂とをボール箱へ入れて一組金二十錢とある。

▼土製の相撲取り 肘を左右に張つた二寸許りの土製の相撲取りが二つ、土俵——紙に描かれた圓——の上に置いてある。腕と腕とを組合せ互にもたれ合せて立たせると相撲を取つてゐる様に見える。組合せ方に依つて相撲振りが違ふところがお楽しみであらう、稍原始的なものだが這麼のが子供衆のお氣に召すのかも知れない、これは一組三錢とある。

▼可愛らしい人形 これは前の相撲取とは雲泥の差異で綺麗なお人形さんである精緻を極めた藝術品である。私はこの種の人形の特に小さいものを好む。机の端に飾つてある私の小さい人形は如何に私を慰めて呉れるだらう。三寸位の小さい人形が一行に寝ねねしてつややかな頬に露肆の燈火を

受けてゐるのは又なく美しいものである。着物を着ないのが二銭、美しい衣を纏うたのが三銭、這麼安い藝術品が又とあらうか。マザリーインスチンクトを備へた純なる少女達は人形のために縫つてやる着物の中に如何に優しい心根を一針毎に縫込んで行くであらう。此の人形を賣つてゐた店には紙で折つた「姉さん」もあつた。私がまだ幼い頃男の癖に叔母さんにせがんで此の紙の「姉さん」を幾個も拵へて貰ひ石鹼の空箱の中に大切に藏つて置いたことを思出した。

▼小さき瓢箪 二寸、三寸位の瓢箪を並べて賣る露肆があつた。白い生地のみ、あつた、黒褐色に塗つたのもあつた、黒條の入つたのや短冊形の金紙を貼付けたのもあつた。泣く子をあやしたり何かする時に與へる所謂「持ちて遊ぶ玩具」である、直段は一個三銭か四銭。

▼流行の蜂の巢玉 赤や青や紫に染めた日本紙を切つて貼つて蜂の巢玉の様にしたものがある、こ

れを二枚合せたボール紙の三邊へ貼り付けたのが「三つ玉」といふ玩具である。ボール紙をめくり返せば蜂の巢玉は疊まつて了ふ、これは一個一銭である、疊めば小さくなつて了ふ所が面白い、此の蜂の巢玉は種々な玩具に應用されてゐる。これを賣つてゐたお婆さんは一日平均百位は賣れますと云つてゐた。

御 注 意

○左の方へ本誌不着にて返送有之候。至急御宿所御報願度候

關谷 いま氏 森川 つぎ氏

鳥居 景良氏 岡本 あい氏 渡邊 芳氏

田中 とし氏 初瀬 ふさ氏 辻 さよ氏

○ 轉 居

東京府下代々木山谷一二四

倉 橋 惣 三